

鈴鹿川等源流の森林^{もり}づくり協議会の概要

【設立目的】

亀山市は、鈴鹿山脈を源とした鈴鹿川の源流を有し、その源流域が育む森林や農地など、それぞれが有する多面的機能が産み出す地域資源（森林・農地・生態系・人等）と市民・事業者が調和することで、心豊かで満足感が得られた幸せな生活を送ることができています。

しかしながら、源流域では、とりわけ中山間地において、地域の過疎化や少子高齢化が進展し、担い手や後継者不足、さらには収益性が低下していることから、管理の行き届かない森林や耕作放棄農地が増加しており、今後集落の存続にも影響を与えかねない状況にあります。これにより、森林や農地の公益的・多面的機能が低下し、土砂災害や洪水の危険が増しています。

このようなことから、私たちは、源流域の大切さを再認識し、多様な主体でこれを守り育て、地域への愛着、意識を醸成するとともに、その生活や文化も守るため、亀山市に関連する産学民官等の多様な主体が、連携・協働しながら、この豊かな源流域を未来へ繋げるために設立しました。

【名称】

名 称：鈴鹿川等源流の森林^{もり}づくり協議会

【活動期間等】

活動期間：平成30年度・・・活動計画策定期間

※計画策定のため、実行委員会を4回ほど開催予定
平成31年～35年度・・・活動計画に基づき実施

会 員：①森林環境に関する有識者
②市内在住在勤の者
③市民団体の代表者
④事業所又はその関係団体の代表者
⑤林業経営者又は森林関係団体の代表者
⑥国・県又は市の職員

活動地域：①鈴鹿川等源流域：中ノ川流域も含めた市全域とします。
②鈴鹿川等重点源流域：鉦区禁止地域とします。
③鈴鹿川最重点源流域：鈴鹿川本流の加太川合流点より上流の流域とします。

活動場所：会故の森、亀山森林公園、亀山里山公園、東海自然歩道、私有林、市有林、
県行造林、国有林ほか

【活動内容】

☆源流域が育む地域資源を守る（産・学・民・官）

森林・里山・河川の環境を保全することにより、地域資源を守り未来に繋げていきます。

活動例：○源流域の森林整備（下草刈、枝打、間伐 等）

⇒森林の持つ多面的機能（水源涵養・生態系の保全等）の向上に繋がります。

○市域の里山整備（間伐・受光伐）

⇒里山が持つ多面的機能（生態系の保全・農地の保全等）の向上に繋がります。

○河川・山林のごみ拾い

⇒源流及びその下流域の環境美化・水質保全に繋がります。

○東海自然歩道等、散策路の整備・美化活動

⇒森林の持つ多面的機能（保健休養機能等）の向上、観光客の評判向上、亀山市の魅力発信に繋がります。

☆源流域が育む地域資源を享受する（民）

地域資源を享受する体験を通じて、その必要性や恵みの素晴らしさを体感します。

活動例：○地域産材を利用した木工教室等の開催

○山の恵み（キノコや木の実等）を使用した振る舞いの実施

⇒山の恵みを享受し、森林を保全していく必要性を感じてもらいます。

○特用林産物体験の開催

⇒原木から育成するキノコと菌床キノコの違いや、森林がもたらす収穫の楽しさを通して、森林を保全していく必要性を感じてもらいます。

☆源流域が育む地域資源を感じる（民）

地域資源を感じる体験・発信を通じて、市内外の住民に地域資源の素晴らしさを感じてもらいます。

活動例：○森林浴ツアー・森林セラピーの開催

⇒森林の持つ多面的機能（保健休養機能）を感じ、森林を保全していく意識醸成を図ります。

○東海自然歩道散策ツアーの開催

⇒源流域の自然を満喫でき、また、森林の持つ多面的機能（保健休養機能）を感じ、森林を保全していく意識醸成を図ります。

☛この意識醸成が東海自然歩道等の歩道整備に繋がります。

○鈴鹿川に住む動植物観察・里山の植物観察イベントの開催

⇒源流域が育む生態系を観察することにより、その重要性を感じてもらいます。

○SNS等を利用し亀山の地域資源の情報発信を行う。

⇒情報発信をすることにより、亀山市の地域資源を発信し、まだ知らない人々への興味を深め、また、すでに魅力を知っている者に対しては、興味を深めてもらいます。

☆源流域が育む地域資源から学ぶ（学・民）

講座や交流を通して地域資源の素晴らしさ、良さを認識いただき、そこから、未来へ繋げる意識醸成を図ります。

- 活動例：○他地域のまちづくり協議会の山を散策し、良いところを学ぶ
⇒市内他地域の現状を知ってもらい、活動内容などの相互理解を深めます。
- 都会の講師を招き、亀山に豊かな地域資源があるという講演の開講
⇒私たちが享受している地域資源は、身近にある当り前のものではなく、かけがえのないものであることを学んでもらいます。
- 山が災害を防ぐ講座・現地視察を開催する。
⇒山が災害から守っていただいていることを実感してもらいます。
- 森林・里山が持つ多面的機能（森林セラピー等）の講座を開催する。
⇒森林や里山、生態系が織り成す恵みは、どのように育まれているか知識を深めてもらい、源流域の保全が重要であるという意識を醸成します。
- 森林にて施業を行っている場所等の見学会を実施する。

☆その他源流域が育む地域資源を引き続き保全する（官）

- 既存事業例：○企業の森による森林保全活動を支援します。
⇒フィールドのあっせん
- 森林の持つ水源かん養や土砂災害防止などの多様な公益的機能を維持・発揮するため、環境林を整備し、針広混交林への誘導を図ります。
⇒森林環境創造事業
- 林業事業者による利用間伐に対し、支援します。
⇒林業生産活動支援事業
- 荒廃が進む身近な里山や竹林を保全する市民団体等の活動を支援します。
⇒みえ森と緑の県民税市町交付金事業
- 市民の生物多様性への関心や意識向上を図るため、自然保護団体等の多様な主体との連携により、生物多様性地域戦略策定とその推進に向けて取り組みます。
⇒生物多様性地域戦略策定事業